

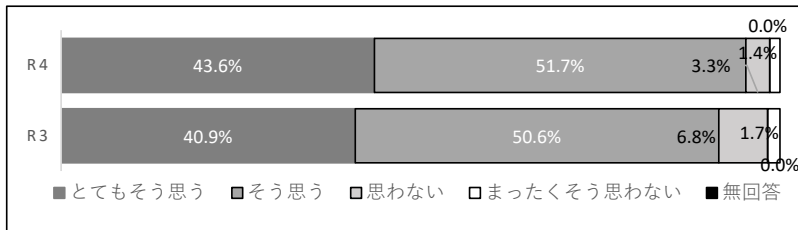
令和4年度 学校教育アンケートの結果

令和5年2月21日 吹田市立青山台小学校長 熊野 厚博

保護者のみなさま、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。コロナ禍のお忙しい中、83%（回答数210名/全児童数253名）の保護者の方に回答をいただきました。今年度はコロナ禍の制限も緩和されている状況の中例年通りの項目でアンケートを実施いたしました。質問事項を令和3年度と比較し集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。ご意見につきましては、教職員全体で真摯に受け止め、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。今後とも、青山台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

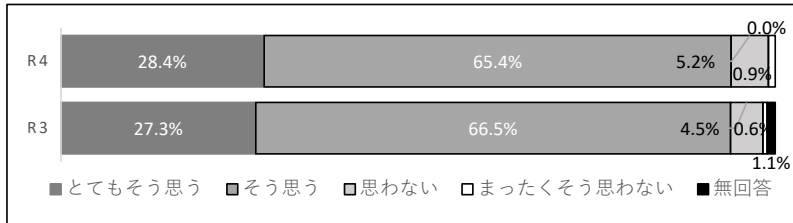
【保護者アンケート】

1. 子どもは、楽しんで学校に行っている。



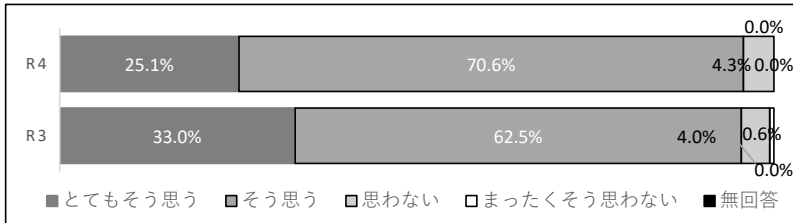
肯定的な回答の割合は、95%を超え、昨年度を上回る結果となった。今後も子供たちが明日も学校に行きたいと思えるように、新学習指導要領に沿って楽しい学習や行事への取り組みを進めていきたい。

2. 先生は子どもを理解している。



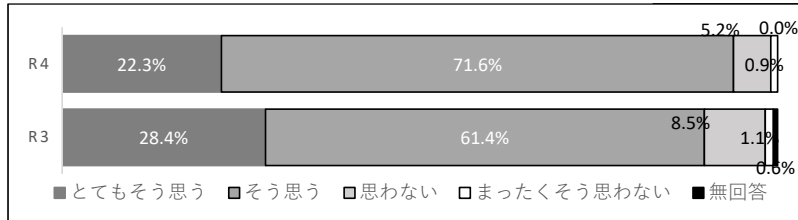
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年とほぼ同じ結果となっている。引き続き児童との関わりを大切にし、更に寄り添い教育活動が行えるように取り組んでいく。

3. 先生は子どものまがった行動を指導してくれる。



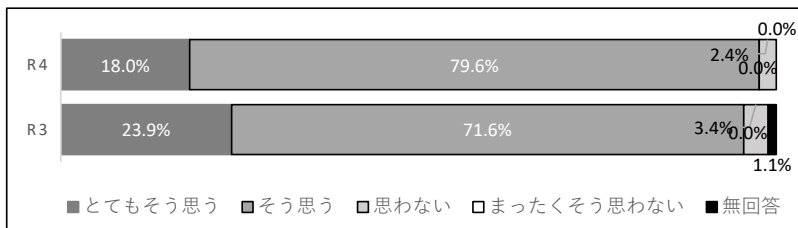
肯定的な回答の割合が95.7%と、昨年とほぼ同じ結果となっている。一方で「とてもそう思う」の割合が7.9%の減少となった。生徒指導上の課題に対応しながら、学校でのルールやマナーについても、職員全体で共通認識を持ちさらに指導を進めたい。

4. 先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。



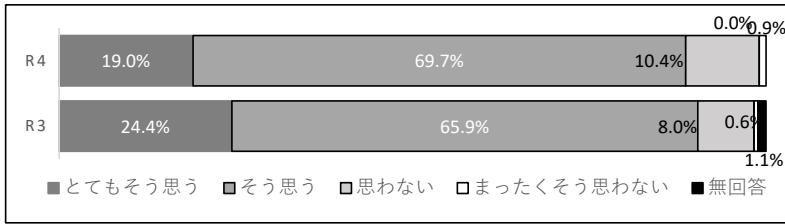
肯定的な回答の割合が93.9%で、昨年を上回る結果となった。担任を中心とした教職員集団がそれぞれの児童に対し適切な評価をするべく、教職員間の連携を密にし、今後も子供をしっかり見ていく。

5. 先生は互いに協力し合っている。



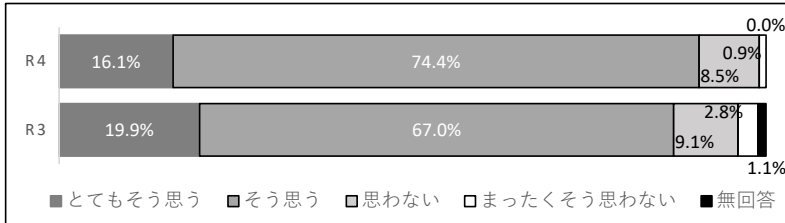
肯定的な回答の割合が97.6%と昨年度を上回る結果となった。引き続きコロナ禍での学校生活は続くが、教職員が連携した組織体制づくりを進めた結果だと認識している。今後もさらに取り組みを進める必要がある。

6. 学校は子どものことについて相談しやすい雰囲気である。



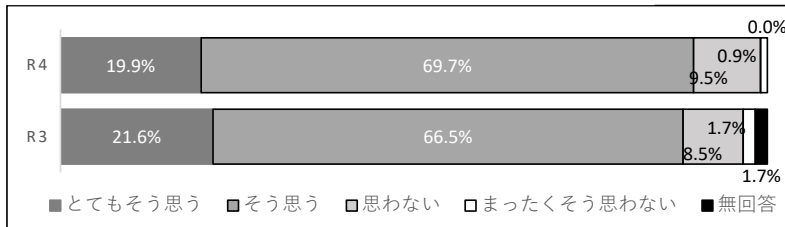
肯定的な回答の割合が88.7%と、昨年をやや下回っている。引き続き学校として、担任のみならず、養護教諭や特別支援コーディネーターを中心にスクールカウンセラーやSSWなどと連携しながら、さらに取り組みを進めていく必要がある。

7. 学校は教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。



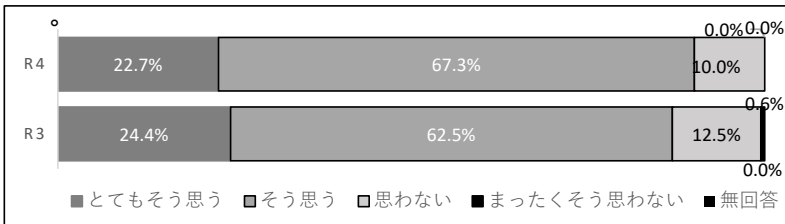
肯定的な回答の割合が90.5%と、昨年を上回っている。今年度は、3年ぶりに参観や懇談も実施でき、学校として教育活動の発信ができるようになったことが大きいと思われる。引き続きお便りや学校ホームページのブログなどを活用しながら、更なる情報提供に努めていきたい。

8. 指導内容や方法について工夫している。



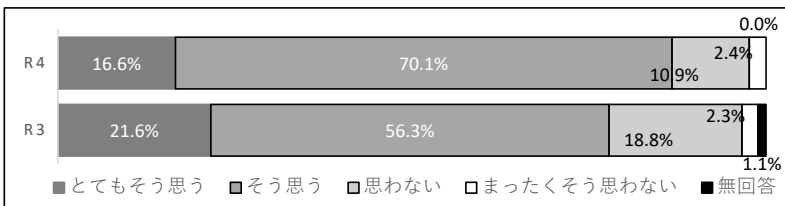
肯定的な回答の割合が89.6%と、昨年と比べやや上回っている。コロナ禍の中、iPadの活用方法も教職員それぞれに理解し、有効な活用方法を実践できてきたこともあるかと思う。更に指導内容、方法について研究を深め、楽しくわかりやすい授業を作っていきたい。

9. 学校からのお知らせ（学校だより・学年だより・ホームページ・緊急メール等）の内容は適切で分かりやすい。



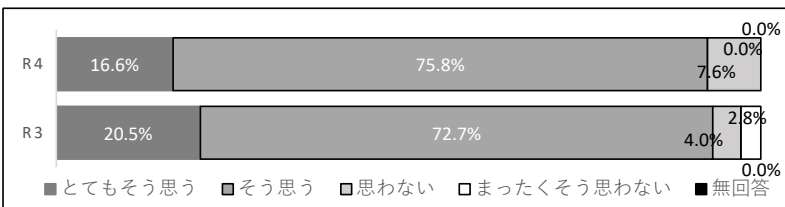
肯定的な回答の割合が90%と、昨年をやや上回っている。今後も必要に応じて紙媒体のお手紙と、メールやHPでの掲載を組み合わせながら、適切な情報発信に努めていく。

10. 授業公開や懇談会、学校行事に参加する機会が適切に設定されている。



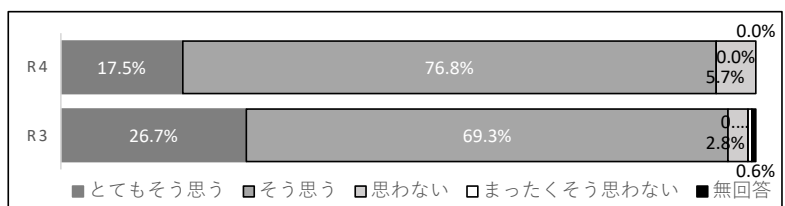
肯定的な回答の割合が86.7%と、昨年を大きく上回る結果となった。昨年と違い、学校行事等が公開できているからだと思う。コロナ禍での制限も更に緩くなっていく方向なので、次年度も保護者参観等が公開できる機会を作っていく。

11. 「学校のきまり」は子どもにとって適切である。



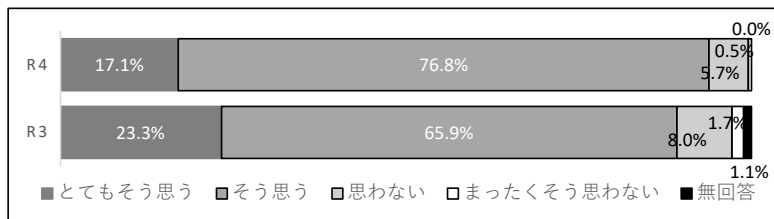
肯定的な回答の割合が92.4%と、昨年をやや下回っている。特に「とてもそう思う」が下がる結果となった。「学校のきまり」については児童の実態を見ながら、引き続き内容を検討していき、より良きものへと見直していきたい。

12. 学校は子どもの適切な生活習慣や学校規律などの基本的な習慣の確立に取り組んでいる。



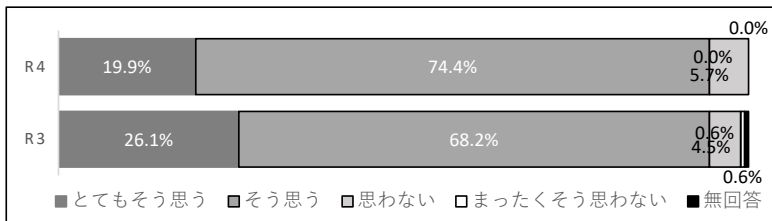
肯定的な回答の割合が94.3%と、昨年をやや下回る結果となった。生活習慣や学習規律は児童の学校生活の基礎となるもの。引き続き学校全体で丁寧に指導していきたい。

13. 学校は発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



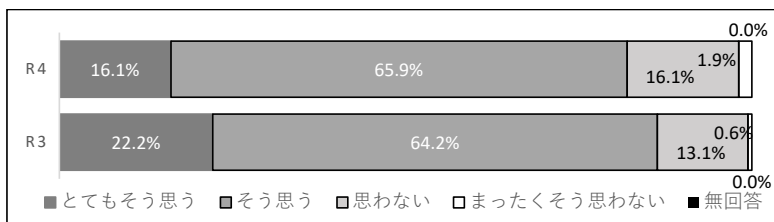
肯定的な回答の割合が93.9%と、昨年と比べて上回る結果となった。引き続き、道徳の時間を中心として学校生活全般を通じ、人権尊重の精神、自尊感情を高める取り組みを進めていきたい。

14. 学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。



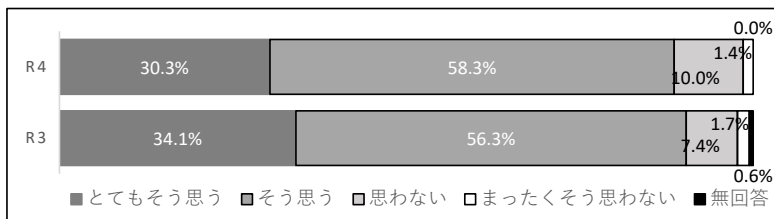
肯定的な回答の割合が94.3%と、昨年とほぼ同水準である。引き続き生命の大切さや、規範意識の育成などを学校の教育活動全体を通して指導していきたい。

15. 子どもは自分の思いや考えを伝える力（コミュニケーション力）がついている。



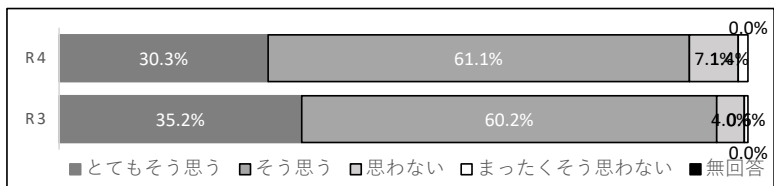
肯定的な回答の割合が82%と、昨年の結果をやや下回っている。コロナ禍の制限が緩まりつつある中ではあるが、学校での取り組みがまだまだ十分でないと言える。ペア学習や全体での話し合いの場に加え、異学年交流や、iPadの効果的活用など、自分の思いや考えを伝える機会をこれから増やしていきたい。

16. 家庭では宿題や連絡帳、おたよりを点検している。



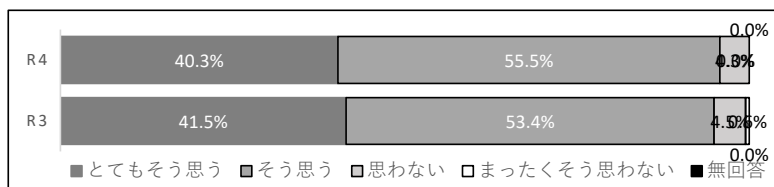
肯定的な回答の割合が、88.6%になっており、昨年度をやや下回っている。今後も児童が円滑に学習活動を進めていけるように、宿題や連絡帳の確認、点検など協力をお願いしていきたい。

17. 学校のことや学習について家庭で話をする。



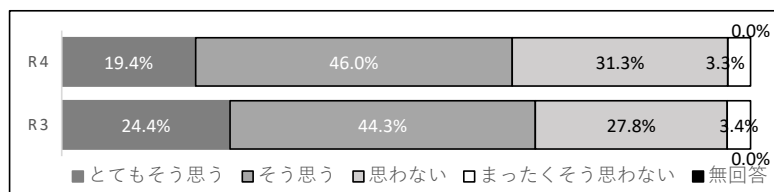
肯定的な回答の割合が91.4%と、昨年をやや下回っている。コロナ禍も3年目となり様々な家庭事情もあるかと思われませんが、今後も児童がご家庭で学校の話をする時間をとっていただくよう、ご協力をお願いします。

18. 学校行事（参観懇談、運動会等）に積極的に参加している。



肯定的な回答の割合が95.8%と、昨年よりやや上がっている。コロナ禍で参観不可能だった行事が制限付きとはいえ、公開できるようになってきた。次年度もお子様の様子をご覧いただけるような学校行事を実施していきます。

19. 保護者としてPTA活動に協力、参加している。



肯定的な回答の割合が65.4%と、昨年と比べやや下がっている。コロナ禍も3年目となり、PTA活動も再開し始めているが、様々な事情もあり、難しいところもある。引き続き保護者の皆様に参加しやすいPTA活動を模索していきたい。

